

生涯学習課 主査
秋本さん

市内全小中学校で行ったアンケートの中に元就に関する素朴な疑問を書いてもらいました。
毛利元就のことなら何でも知っているスペシャリスト・秋本哲治さんが真面目に答えます!

Q 何人兄弟ですか?

A 兄の興元、妹の宮姫のほか、異母の子どもを含めて兄弟姉妹が8人います。



Q どんな武器を使って戦っていたの?

A 元就は軍を指揮する役目だったため、最前線で武器を持って戦うことはなかったと思われます。元就が清神社に奉納した刀は歴史民俗博物館で展示されています。

Q 普段はどんな生活をしていましたの?

A 朝早くに起きるとまず念仏を唱えます。その後は、今でいう会議や打ち合わせなど、家督を譲った後も実権を握っていたため、周囲からさまざまな相談をされて頻繁に手紙のやりとりもしていたようです。亡くなるまで毛利グループの実質的なリーダーでした。

Q 嫌いな食べ物は何か?

A はっきりとしたことは分かりませんが、お酒は控えていたようです。父と兄をお酒が原因で早くに亡くしたことから、子どもたちにも「酒はたしなむ程度にするように」と言い聞かせていました。

Q 亡くなった時はどんな状況ですか?

A 息子の隆景、孫の輝元に看取られながら郡山城で75歳で病死しました。死後、織田信長からも死を悲しむ手紙と特使が送られました。



Q いったい何戦何勝したのですか?

A たくさんの戦に参加していましたが、当時の戦に勝ち負けをはっきりとつけるのはとても難しいんです。お互い全滅するまで戦う訳ではないので、数字ではっきりさせるのは難しいですね。

Q 奥さんの名前はなんですか?

A 当時の女性は住んでいる場所で呼ばれていたもので、元就の正室の名前は不明です。元就は正室が亡くなるまで側室を迎えておらず、妻を大切にしていたことが分かる元就の手紙も残されています。正室は、隆元、五龍局、元春、隆景の生みの親で、47歳で病死し「妙玖」という法名で知られています。



Q どうして中国地方を制覇したの?

A 野心というより、毛利氏とその名前を守るために必死に敵対勢力と戦い、また仲間を集めた結果といえるでしょう。最初から中国地方を統一しようという思いはなかったと考えられます。

Q 元就の趣味は何ですか?

A 亡くなるまでにたくさんの短歌を詠んでいます。死後、編さんされた「春霞集」という歌集があります。



Q どんな食事をしていたの?

A 普段の食事は質素だったと思われます。珍しいものと言えば、宴の席で白鳥の入ったみそ汁やカワウソのレバーが料理として出されていたという記録が残っています。



Q どんな鎧を着ていたの?

A かぶとの前立てや三色の華やかな糸、さらに大きな袖が特徴的です。あえて格式の高い胴丸ではなく背中が開閉する腹巻を使用し、格式より実利を重視した姿勢がうかがえます。



「色々糸威腹巻」の複製
(歴史民俗博物館)
原本:毛利博物館蔵